

農林水産省登録認定機関・特定非営利活動法人(NPO) 熊本県有機農業研究会 発行
〒861-8028 熊本市新南部2丁目5番13号 Tel 096-223-6771 / Fax 096-223-6772

振替: 01980-7-18438

URL: <http://www.kumayuken.org/>

Mail: info@kumayuken.org



1) くまもとの有機広がり ～有機農業推進ネットワーク設立～

2) 農業を選んだよ ～まだ夢の途中～



3) 九州各県の有機推進状況

4) 食クエスト

身—土—不—二

食育のひとつに茶を

日本茶アドバイザー
市来 眞

茶って、日本の食文化が育んできた大切な飲みもの。手のひらにのる小さな空間に先人達の茶文化が息づいている。口に運ぶ時に、ふわっと立ち昇るふくいくたる香り、いやされる。おいしいから、味わい毎日飲む。体調を整える大事な微量要素「カテキン、カフェイン、テアニン、ビタミン、

ミネラル」が含まれる。おいしいさは水の影響も大きい。熊本の水の良さで有難い。自然の恵みに感謝せずにはられない。すごいこと。地元で授かった大事な食材でしよう。また、農家を訪ねると必ず「茶どん飲んで行きなっせ」。茶うけにつけもん、煮豆でろん(熊本弁)頂きながら、会話がはずむ。人との交流の潤滑にも役立っている。

さらに、親が茶好きだと子ども茶好きになるようだし、茶との感動、実感できた出会い。朝起きがけの一杯、食後の一杯、夜くつろぐときの一杯の茶。じいちゃん、ばあちゃん、父、母が飲んでいた日本の茶飲み習慣が体の五感(色、香り、味)を通して一日が始動って本当にありがたいことです。是非、食育のひとつに茶を活かしてみたい。

* 日本茶インストラクター協会
<http://www.nihoncha-inst.com/>

* 11月開催予定の有機JAS認証講習会では、お茶生産者の情報交換と交流会を予定しています。



「効率優先の世の中で忘れられた物がある。それらはいずれもユニークで圧倒的に美しい。」
元 野中 写真家 百姓

広がれ！くまもとの有機農業

6/1 くまもと有機農業推進ネットワーク設立！

みなさん、会員になってください！

代表幹事 片野 學（東海大学農学部教授）

有機農業に携わってきた私たちにとって、長年の願いであった、国が有機農業を認知し、その推進にあたる法律「有機農業の推進に関する法律」が2006年12月15日に公布・施行されました。2007年4月には農林水産省が有機農業推進計画を作成し、都道府県で推進計画を作成する段階になり、熊本県から熊有研に相談がありました。そこで、熊有研が中心となって、およそ、1年間の準備期間を経て、熊本県内で有機農業を実践している生産者、有機農産物を愛好する消費者、流通業者、加工製造業者、研究者など有機農業の発展を願う関係者が一同に集まり、「くまもと有機農業推進ネットワーク」の設立を進める会合を重ねてきました。177名の発起人とともに、設立総会は2008年6月1日、東海大学熊本キャンパスで開催されました。20名の幹事と2名の監事を選出し、代表幹事に私、副代表幹事に市来眞熊有研理事長、永峰典隆（財）自然農法センター九州普及所長、鶴田志郎（株）マルタ会長を選出し、事務局は熊有研が担当することになりました。熊本県有機農業白書作成、様々な団体・個人の活動経験交流などを進めていきます。熊有研会員も応援くださることをお願いいたします。

ここに振り込んでください

郵便振込口座

番号 01750-2-120562

名称 くまもと有機農業推進ネットワーク

会費・正会員及び賛助会員 個人一口1000円

正会員及び賛助会員 団体一口5000円



6月1日 東海大学にて130名の参加で設立総会開催

設立記念講演会
「日本の農は誰が守る」
講師・西村和雄氏

（有機農業技術会議代表）

カズヨが聞いた
西村さんのお話



顔が大きな大変ユニークな先生でした。冗談を交えながらのヨルダンでのオリーブ栽培のお話によると、ソラマメ栽培との間作によってソラマメに発生するアブラムシがオリーブにくる害虫を食べてしまうそうです。ジンバブエでのトウモロコシとキマメの間作のお話等大変興味深かったです。「その土地に定着する自然を生かしての農業」を課題に現在も尽力されています。（24歳）

くまもと有機農業推進ネットワーク役員名簿

代表幹事 片野 學 環境保全型農業研究会代表
副代表幹事 鶴田志郎（株）マルタ有機生産組合
副代表幹事 永峰典隆（財）自然農法国際研究開発センター九州普及所
副代表幹事 市来 眞 NPO法人・熊本県有機農業研究会
事務局・熊本県有機農業研究会内（ネットワーク事務局長・間 司）
幹事 青木スミエ 荒毛正浩 稲本薫 古上普史 澤村輝彦
住本親人 田上正弘 富田親由 中島政敏 西山正一
西村憲一 野口慎吾 間 司 藤本完一 元岡健二
森田良光（あいうえお順）
監事 内田敬介 橋本忠昌

…まだ夢のとちゅう…



大隈美佐子

矢部町（現山都町）に移り住んで、10年目になります。農業を生業とした生活の基盤も大方整い、季節の移ろいに応じた農作業、家事も体に染み込みつつあり

ます。今は、育ち盛りの4人の子供たちとの関わりを通じて、田舎暮らしの面白さを存分に堪能しています。同時に現実的な問題に妥協することも多い日々です。まだ夢の途中という感じです。

今は、ミョウガ栽培をがんばっています。他に、人参、里芋、れんこん、お茶等。水田はアイガモ農法、かけぼし米です。

連載
農業を選んだよー！

石の上にも3年



串光倫典

熊有研の皆さまこんにちは。山都町中島地区にあるキッチンガーデンで研修3年目に入りました串光倫典です。キッチンガーデンでは主に葉菜を作っています。ほうれん草と水菜を交互に輪作を主軸とし、ルッコラ・小

松菜・春菊・チマサンチュなどを組み合わせ、周年で出荷しています。夏場はミニトマトやキュウリといった果菜も作っていて、山都の圃場では今夏はヒゴムラサキというナスにチャレンジ中です。
※注 ヒゴムラサキ・アクがなく、種も少なく、甘みも強い、生で食べられるナスです。

有機農業推進計画進行状況を調査

各県の有機農業推進部局担当者への電話、ファックスでの聞き取り

推進計画の策定は、早い県で20年度、遅い県は22年度中。有機農業に対する位置づけや考え方は県によって開きがある。最も進んでいるのは佐賀県。平成16年からすでに有機JAS認定申請の認定手数料の一部補助などの個別支援を実施している。19年度からはさらに細かい支援事業を展開。鹿児島県も20年度から手数料の一部助成などの事業をすすめている。熊有研としては、この期に熊本県に対し、なんらかの要望を出しても良いのではないかな。(広報部)

佐賀県

- 環境保全型農業のシンボルとして、有機農業の振興をはかる。
- 有機農業推進法施行以前の平成16年から、園芸、農産部門において、有機栽培認定申請料に対する補助（5万円限度の定額助成）、また有機農業を含む環境保全型農業の取り組みに対し、研修会の開催や展示場の設置などの取り組みに対する助成、生産に必要な施設、機械等の設備に対する助成をおこなっている。
- 平成19年からは、有機農業を対象として、下記の県単独事業を行っている。
 - ア 有機農業に取り組む場合に必要となる生産資材や労働費等の掛かり増経費に対する支援
 - イ さが有機農業CSOの普及活動支援
 - ウ 有機農業をめざす農家等に対し栽培技術や販売方法等の研修
 - エ 有機農業者の意見交換会
 - オ 生産者と消費者の意見交換会
- 県の有機農業推進計画については平成20年度中に公表予定。

長崎県

- 有機農業は慣行農業と比較して労力をとめない、収量が減少する傾向にある。また、現状では安定した生産のための技術確立が不十分で、全ての農家に普及できない。
- 消費者の有機農産物の需要もあるが、生産コストにあった価格設定が重要であり、消費者や事業者の理解が必要。
- 「人と環境にやさしい活力あるながさき農林業の推進」を基本に、有機農業についても支援していく。
- 推進計画は平成21年度が目処。

熊本県

- 有機農業や減農薬・減科学肥料等による環境保全型農業の取り組みを「くまもとグリーン農業」として積極的に推進している。有機農業はグリーン農業を支える重要な農法の一つとしてとらえ、有機JAS登録認定機関と連携を図りながら推進する。
- 有機農業推進検討委員会を設置し、今後の有機農業のあり方を検討している。推進計画の策定は、平成20年度以降を予定している。
- 有機農業実態調査や有機農業推進計画策定検討を行う予定。

福岡県

- 有機農業は、もっとも栽培方法が難しいという意味で環境保全型農業のトップクラと位置づけている。
- 推進計画の検討を行う委員会を設置し平成22年度に策定予定。

鹿児島県

- 有機農業は「環境と調和した農業」の一翼を担うもの。
- 推進計画は6月中旬をめどにパブリックコメントを実施予定。
- 平成20年度に①消費者の理解と関心の増進、②有機JAS認定手数料の一部助成など県独自事業を創設（助成率 初年度手数料1/2 2年目手数料1/3 3年目手数料1/4）

大分県

- 推進計画を今年度中に作成の予定。
- 「いいな大分」という認証制度を設けているので、それとの協調という形で進めたい。「いいなおおいた」は3段階あり、「いいな5割減」「いいな3割減」「いいな有機JAS」である。

宮崎県

- 施設栽培が主であり、西南暖地で多湿、病害虫も多く、有機農業には慎重な態度である。
- 先進地域の綾町などに状況の聞き取りを始めている。今年度末あるいは来年度に推進計画をまとめる予定。

オーガニック食クエスト

ゆうき じょく たんぼう

vol.3

by 広報部

●健味健康食 大河（益城病院併設）

病院に併設されたこの店では、健康的であり、かつ万人受けするボリュームも備えた食事が楽しめます。ディナーでは、カレーコースもしくはハンバーグコースが供されます。「和牛を使った料理がお勧めです」というホールスタッフの言う通り、どちらの肉も柔らかく、それでいてしつこくない旨みがあります。これなら通院中の方やご年輩の方も楽しめると感じる優しい味わいでした。ハンバーグコースで選べる手作りパンだって健康志向です。施設農園産の小麦粉を使用し、ゴマやニンジン、ハーブなどを練り込んだプチパンは、ふんわりと軽く、何個でも食べられそうです。デザートは豆乳ぜんざいは、ぷかっと浮かんだ氷が涼しげで、目にもおいしい一品でした。(松本)

■ 2月～5月活動報告 ■

- 2月24日 第8回通常総会
 3月 2日 判定委員会
 6日 菜の花プロジェクトin植木
 14日 食育アイランド九州熊本交流会
 22日 ゆうきフェスタ実行委員会
 29日 九州有機農業推進協議会設立総会
 30日 有機JAS講習会
 4月01日 有機JAS講習会
 13日 判定委員会
 20日 くまもと有機農業推進ネットワーク
 設立発起人会
 5月11日 判定委員会
 29・30日 登録認定機関連絡会議
 6月 1日 くまもと有機農業推進ネットワーク
 設立総会・記念講演会

■ 今後の予定 ■

- 7月 6日 判定委員会
 12・13日 九州地区若者の集い(南小国)
 19日 ゆうきフェスタ交流会
 実行委立ち上げ準備
 (庄口コミュニティセンター 午後2時)
 20日 有機JAS講習会
 (御船カルチャーセンター)
 25日 くまもと有機農業推進ネットワーク幹事会
 26日 第3回理事会



お子さんも注目!

学校や保育園で、子供達と菜の花を栽培し搾油する、廃油を回収する、そんな菜の花プロジェクトを広げようと子供用リーフレットができました。漢字にはかながふつてあります。学校で使いたい、子供達に見せたいという人はご連絡ください。

- 菜の花プロジェクトを知っていますか？
- 菜の花のタネをまこう
- 菜の花であそぼう
- 菜の花をたべよう
- バイオ燃料(BDF)とは？
- 使った天ぷら油をあつめませんか？
- 熊本の菜の花とBDF地図

● 08年第2回有機JAS認証講習会

＜生産者・加工業者・小分け業者向け＞

日時・7月20日

(新規9時半～17時)(年次13時～17時)

場所・御船カルチャーセンター

DVD観賞・有機農業で営まれる

東京都足立区都市農業公園

※ 参加希望は事前に事務局にお申し込みください。

HPからも申し込み可。

● 小国で有機農業・若者の集い

有機農業に取り組む九州の若者が小国に集います。農業に興味がある、将来農的暮らしをしてみたいという人、大歓迎。

日時:08年7月12日(土曜)13時受付

13日(日曜)12時解散

会場:岳の湯温泉公民館「ゆけむりの館」

住所:熊本県阿蘇郡小国町西里岳の湯2816

会費:3000円/1泊2食(野菜を一品、飲み物を一品持ちより)

風呂代500円、シーツ代600円(持ってくれば無し)は別途

自己紹介 自由討議 スタードーム作り ピサパーティー 他

問い合わせwildoats@bronze.ocn.ne.jpまで



事務局便り

お世話になりました。

事務局の林真理子です。

平成16年8月より熊有研で仕事を始めて4年余りになります。その期間、自分なりに創意工夫を重ねてやってきました。また、食に対する関心がより高まり、有機農業の大切さを実感しました。このたびは一身上の都合により退職することになりました。短い間でしたが、お世話になりました。熊有研のさらなる発展を祈念します。

☆林さん、お疲れさまでした！
 今後も気軽に遊びに来て下さい。

はじめまして！

三浦千世(みうらかずよ)と申します。4月から熊有研で有馬さんの指導のもと、週2回JAS認定業務の仕事をしています。さらに林さんが今月の6月で退職されるのに伴い、熊有研の経理の仕事も引き継がせてもらっています。兵庫県宝塚市出身です。2年間ドイツでの農業研修等を経て今年の3月島根大学を卒業し、単身で有機農業をするため熊本に引越してきました。現在、ベテラン有機農業経営者である間さんのもとで研修中です。(週4回)実際の有機農業の栽培管理や経営の厳しさ、楽しさを実感しつつ自分がかどのような有機農業を目指すのか模索中です。